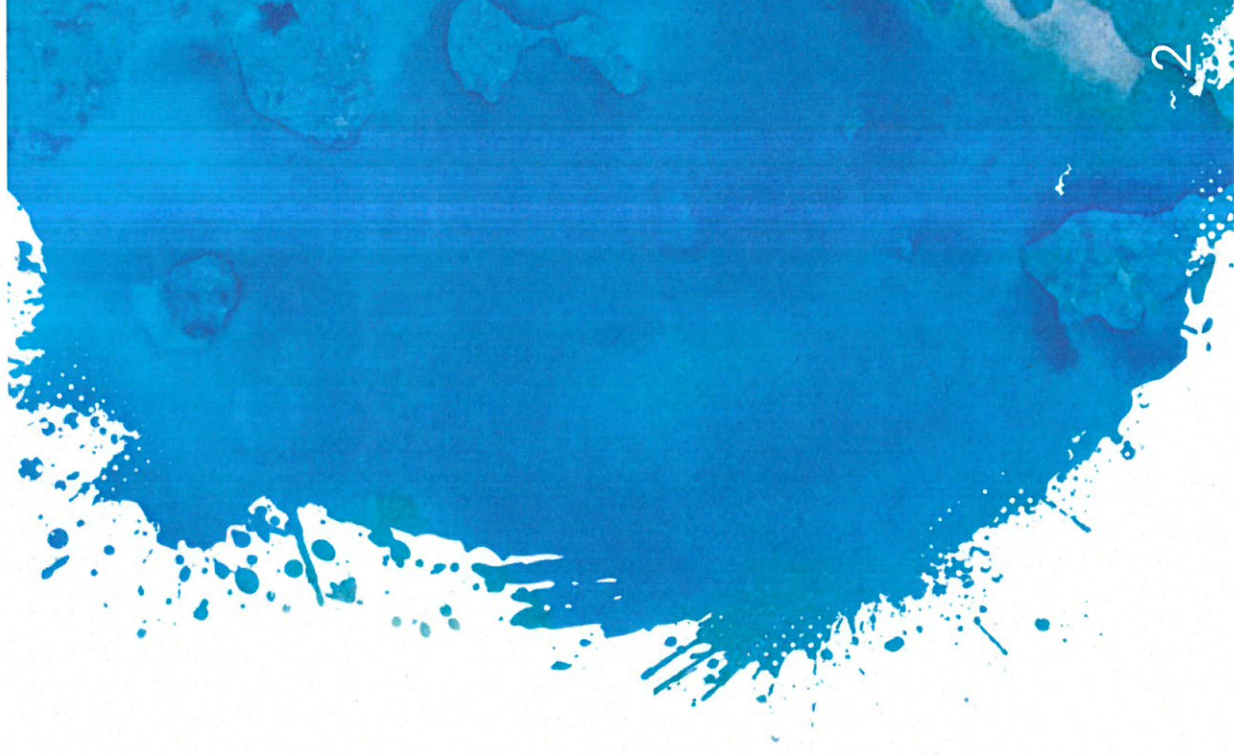




議題 5. (仮称) 第二次山口市 文化振興ビジョン策定方針について

1. 策定の背景



国の動向

平成29年

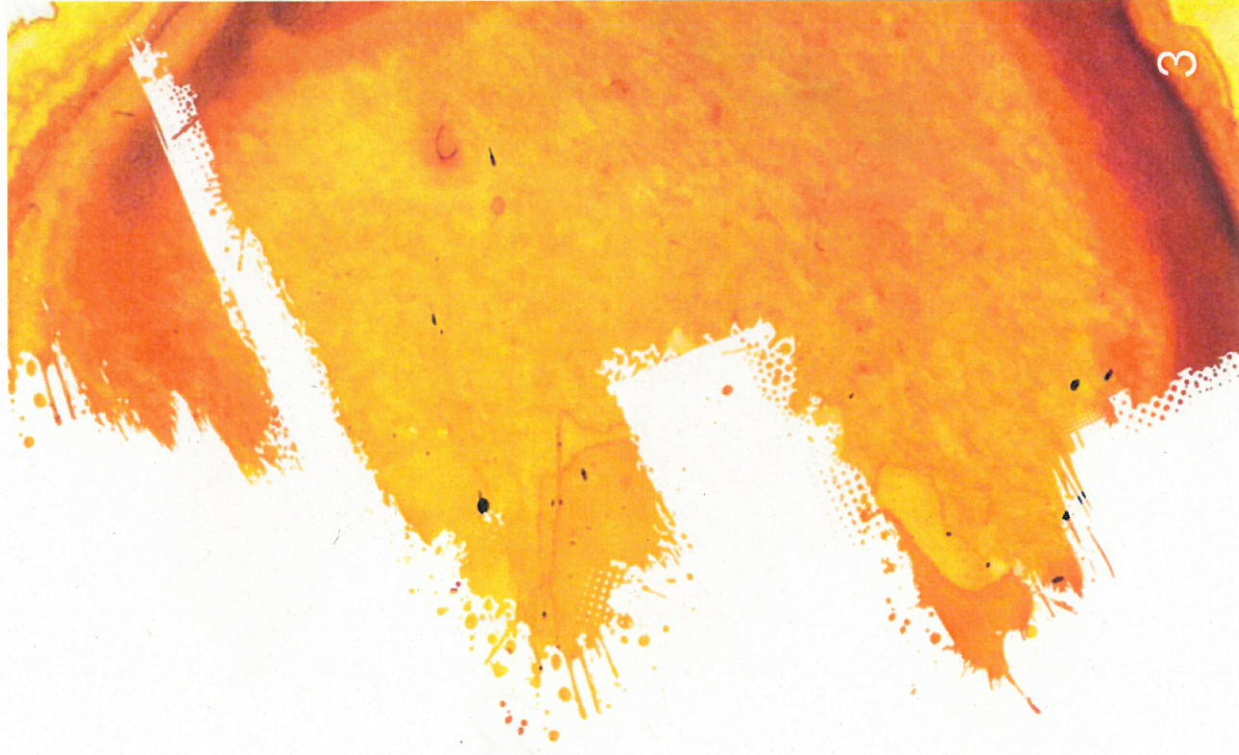
「文化芸術基本法」改正

平成30年

「障害者による文化芸術活動の推進に
関する法律」公布

平成32年（2020年）

東京オリンピック・パラリンピック
競技大会開催

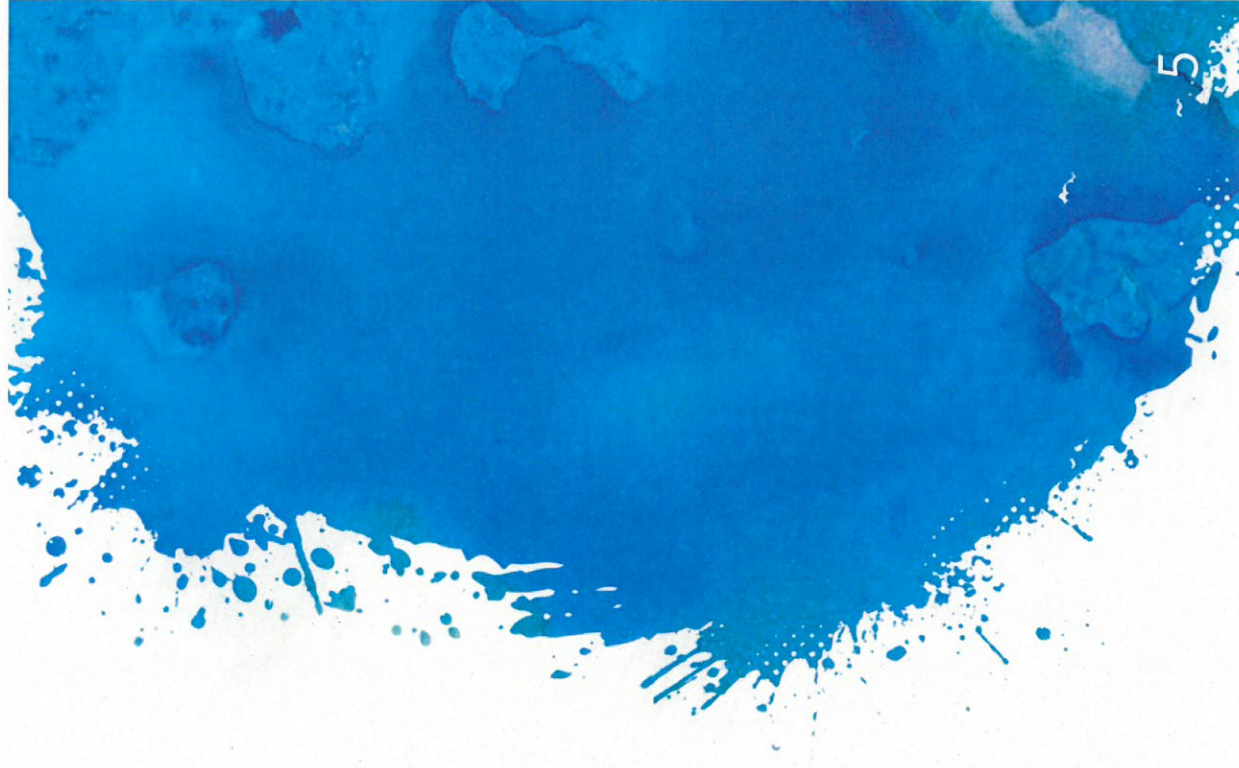


県の動向

平成31年

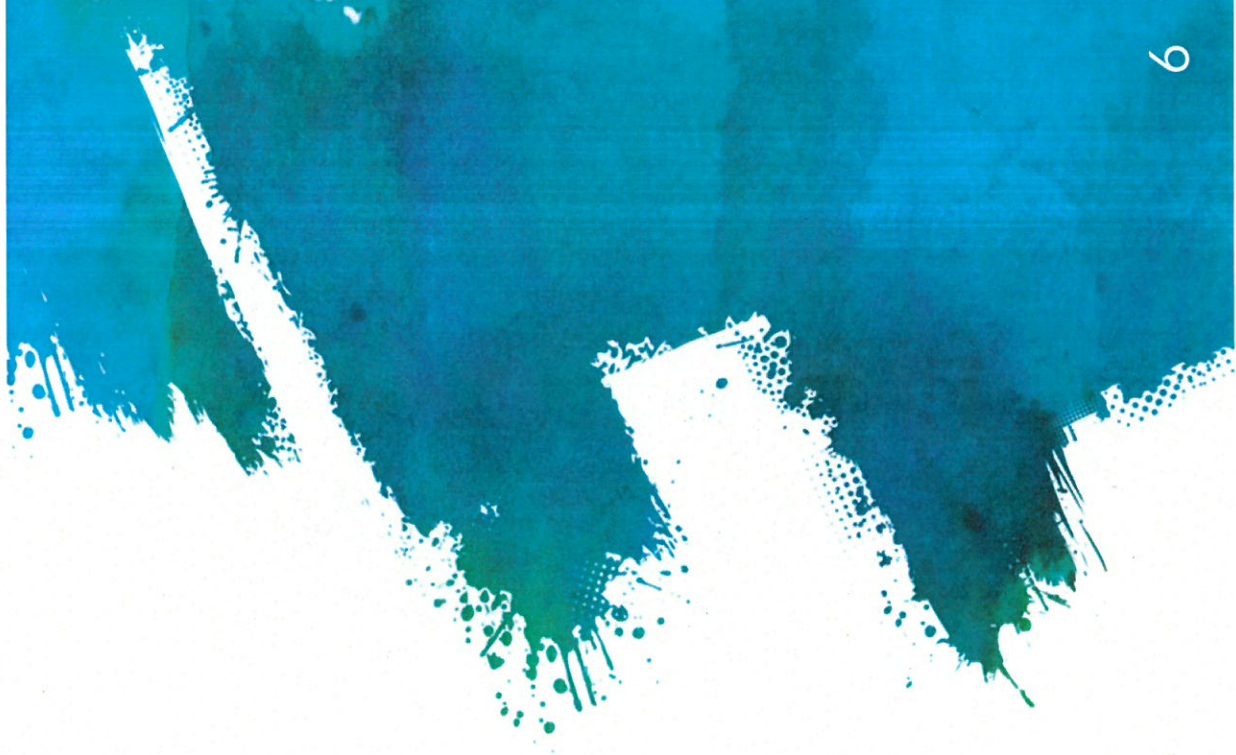
「やまぐち文化芸術振興プラン（第2次）」
（予定）

2. 策定の趣旨



策定の趣旨

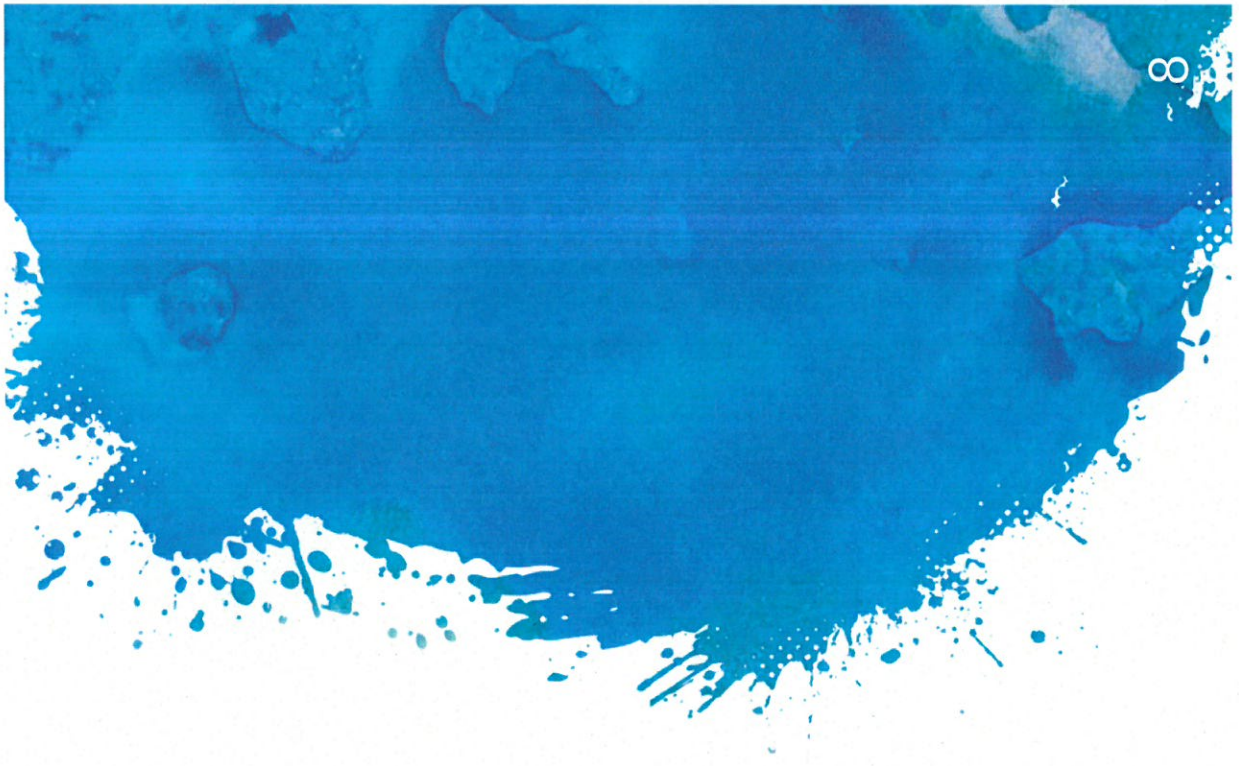
本市においては、平成21年3月に「文化の薫るまち 創造ビジョン」を策定し、豊かな自然や長い歴史に育まれた文化、そして自然と調和した街並みや景観など、山口にしかない魅力を創造し、本市の価値を向上させる上での重要な要素である文化を育み、文化性あふれるまちづくりの取組を進めてきました。



策定の趣旨

都市部と農山村等が共存する広大な市域には、固有の歴史と文化が息づいており、地域における独自の個性として、本市の魅力を生み出す源泉となっていています。今後、それらを地域固有のものとして受け継いで行くとともに、文化芸術を通じた創造的な取組により、地域課題を解決し、新たな価値を創出するとともに、地域の文化やコミュニケーションを活性化させることで、様々な交流や豊かなくらしの実現が図られる好影響・好循環のまちなづくりを進めるための今後の指針となる計画を策定します。

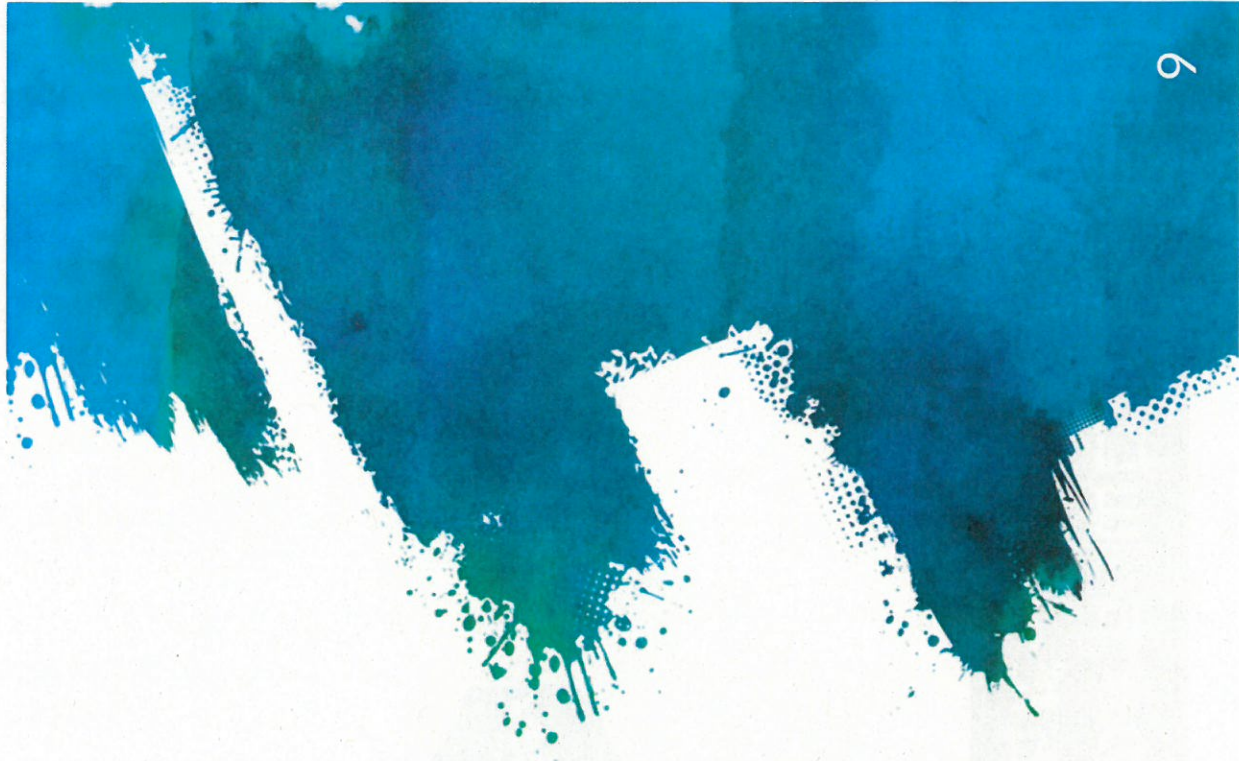
3. 計画の位置付け



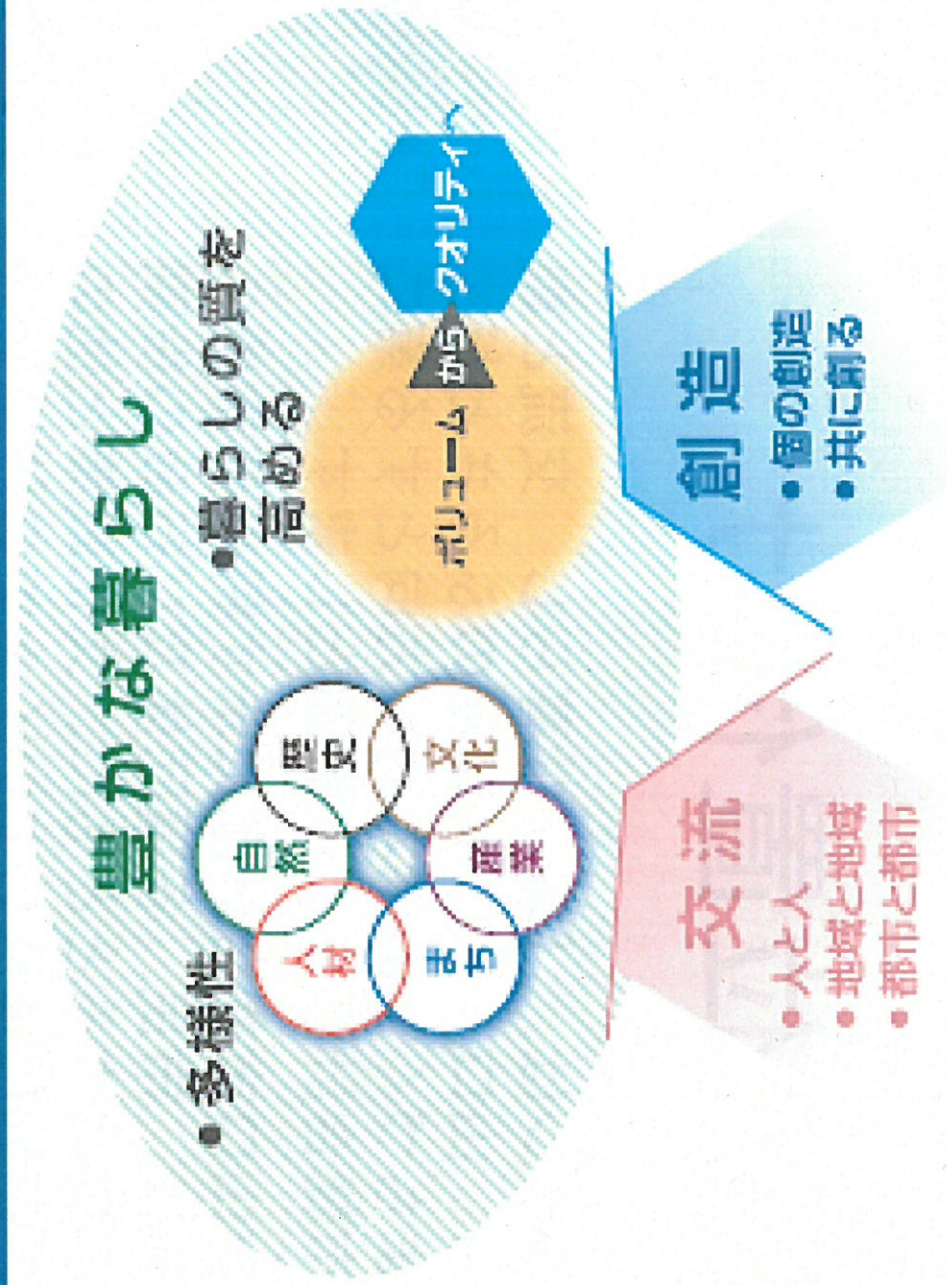
計画の位置付け

本ビジョンは、「豊かな暮らし 交流と創造のまち 山口 ～これが私のふるさとだ～」をまちづくりの基本的な方向とする第二次山口市総合計画を上位計画とします。

第二次山口市総合計画に示す将来都市像の実現に向け、市民、各種団体及び行政の役割分担を明確にするとともに、文化政策と他の政策を包括的に推進していく上での諸施策の指針として策定するものです。



豊かな暮らし 交流と創造のまち 山口
～これが私のふるさとだ～



都市政策の柱

将来都市像を実現するための本市の都市政策の柱を、「広域県
央中核都市づくり」と「個性と安心の21地域づくり」とします。

「広域県央中核都市づくり」では、県都としての役割を果たす中
で、高次の都市機能を集積し、サービス業の振興等を図り、市内や山
口県央連携都市圏域等に対して高次の都市機能を提供することで、本
市のあらゆる地域に安心して住み続けられるまちづくりを進め、広域
的な経済活力や交流を創出します。

「個性と安心の21地域づくり」では、これまで取組んできた協
働によるまちづくりのもとで、地域資源を最大限に活用し、市内の2
1地域の特長や個性を際立たせ、効果的なネットワークを形成するま
ちづくりを進めます。同時に、人口減少時代において、人口規模の小
さな集落地域にあっても、一定の生活関連機能が維持・集積されるよ
うに、一定程度の集約を通じた拠点形成とネットワーク化により、暮
らしやすい、安心の定住環境を確保するまちづくりを進めます。

2 目指すまちの姿

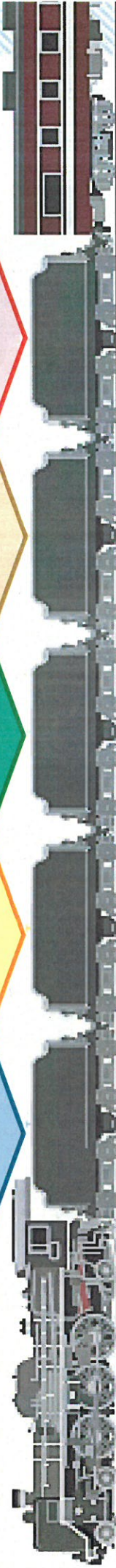
(1) あらゆる世代が
健やかに暮らせるまち
子育て・健康福祉

(2) 学び 育み 暮らしを
楽しむまち
教育・文化・スポーツ

(3) 安全安心で
快適に暮らせるまち
安全安心・環境・都市

(4) 地域の魅力があふれる
産業と観光のまち
産業・観光

(5) 市民と共に創る
自立したまち
協働・行政



2 重点プロジェクト

(1) 重点プロジェクトの位置付け

前期基本計画の5つの政策グループにおける施策別計画の推進にあたって、横断的に、重点的に対応すべき取組を、将来都市像の実現に向けた8つの重点プロジェクトとして構築し、効果的に事業を展開していきます。

8 つの重点プロジェクト (PJ)

魅力あふれる 県都づくり	「広域県央中核都市づくり」PJ
協働による	「個性と安心の21地域づくり」PJ
将来を担う 子どもたちを育む	「教育・子育てなら山口」PJ
産業活力・地域雇用 を創出する	「働く・起業なら山口」PJ
山口の個性を高め 暮らしを楽しむ	「文化・スポーツ・観光なら山口」PJ
生涯にわたって 元気に暮らす	「健康長寿のまち」PJ
安全安心で 快適な住環境	「安全安心のまち」PJ
心かよう	「市民サービス向上」PJ

重点プロジェクトと施策別計画の関係 (イメージ)



県都としての役割を果たす中で、山口・小郡の都市核づくりを進め、高次の都市機能を集積し、サービスの振興等を図ります。あわせて、広域交通網や都市間ネットワークの形成を進め、市内や山口県央連携都市圏域等に対して高次の都市機能を提供することで、あらゆる地域に安心して住み続けられる魅力的で躍動感あふれる広域県央中核都市づくりを進め、広域的な経済活力や交流を創出します。

1. 高次の都市機能の集積や提供

(3) 山口都市核づくり

○情報文化都市づくり

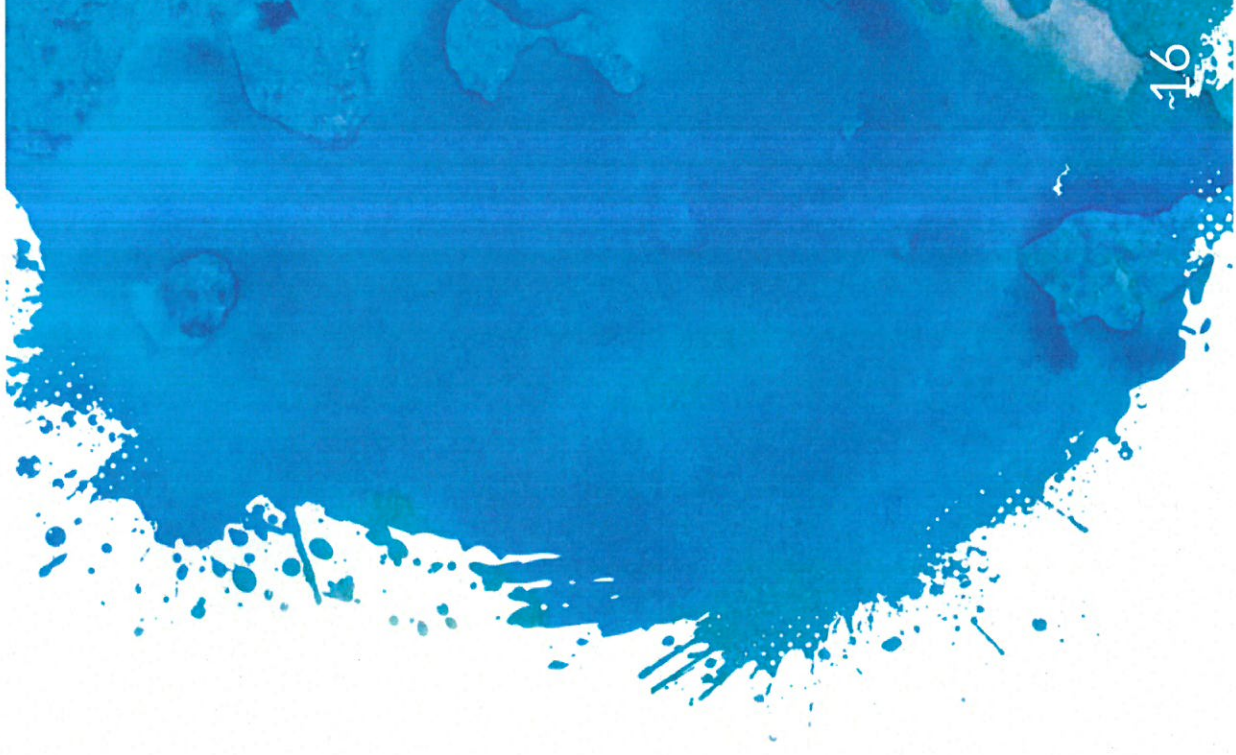
山口情報芸術センターの活用や、情報関連企業等との連携による新産業・交流創出、教育・学習活動の強化等

あらゆる世代の方々が、山口の暮らしの豊かさやまちへの誇りを実感できるよう、多様な地域資源に磨きをかけて、新たな価値の創造や新たな交流・対流を創出し、各地域や本市全体としての個性が際立つ都市戦略の取組を進めます。

1. 文化の薫る「創造都市づくり」

- 文化芸術や歴史資源を活用した地域づくりの推進
- あらゆる世代における市民文化活動の充実
- 県立美術館、博物館等と連携した学習環境の充実
- 山口情報芸術センターの創造性を生かした取組
- 郷土文化、伝統芸能の普及支援
- 教育・文化・観光拠点としてのパークロードエリアの再創造
- 芸術文化の持つ創造性と他分野（生活環境、福祉等）との連携
- 文化芸術・歴史資源を活用した地域づくりへの市民の主体的な参画の促進
- 観光地域づくりと連動した文化財マネジメントの強化
- 大内文化、幕末維新等、固有の地域資源を活用した本市のブランド確立（例：日本遺産等）

4. 計画の構成



計画の構成

(仮称)第二次山口市文化振興ビジョン

基本方針

目標実現のための方策を体系的に整理

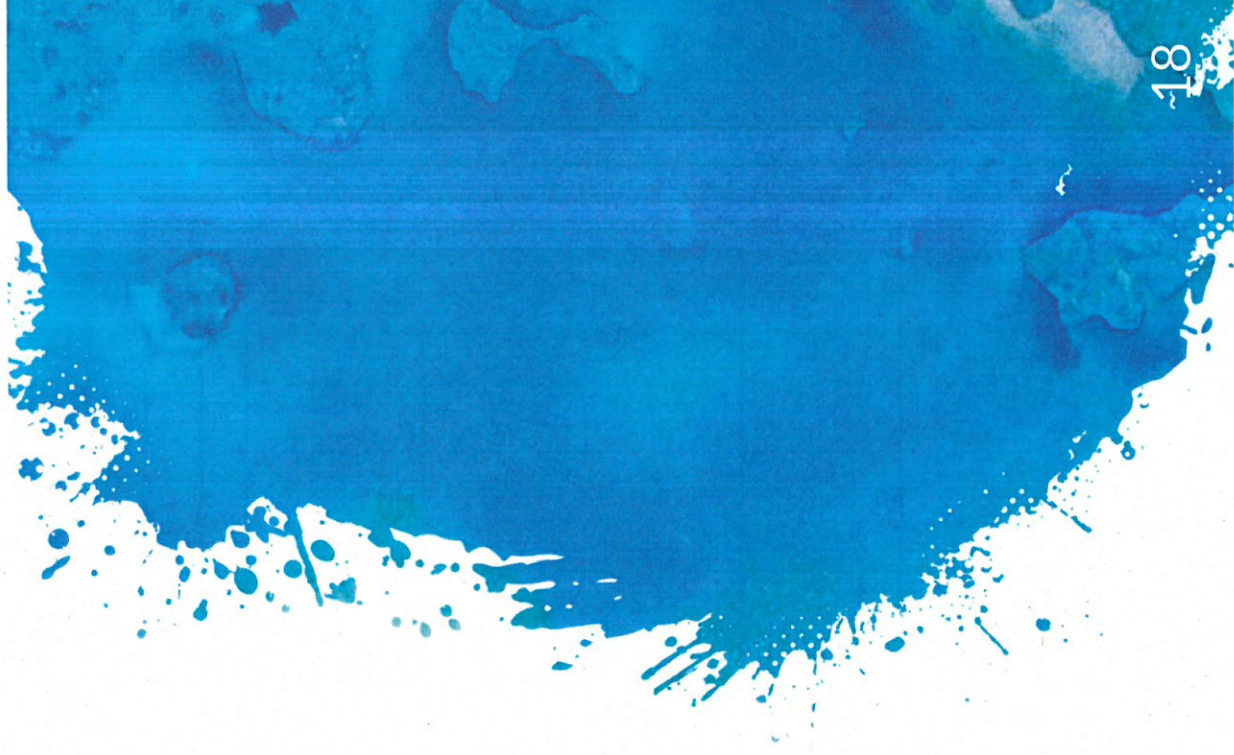
推進計画

基本方針に基づく具体的な取組
(社会情勢等による新たな課題へ対応)

前期計画

後期計画

5. 計画期間



計画の期間

年度	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39
基本方針	(仮称) 第二次山口市文化振興ビジョン 基本方針							
推進計画	推進計画(前期)				推進計画(後期)			

6. 次期文化振興ビジョン のメインテーマ

次期文化振興ビジョンの メインテーマ

「～歴史の中に息づく

国際性豊かな創造文化都市 やまぐち～」

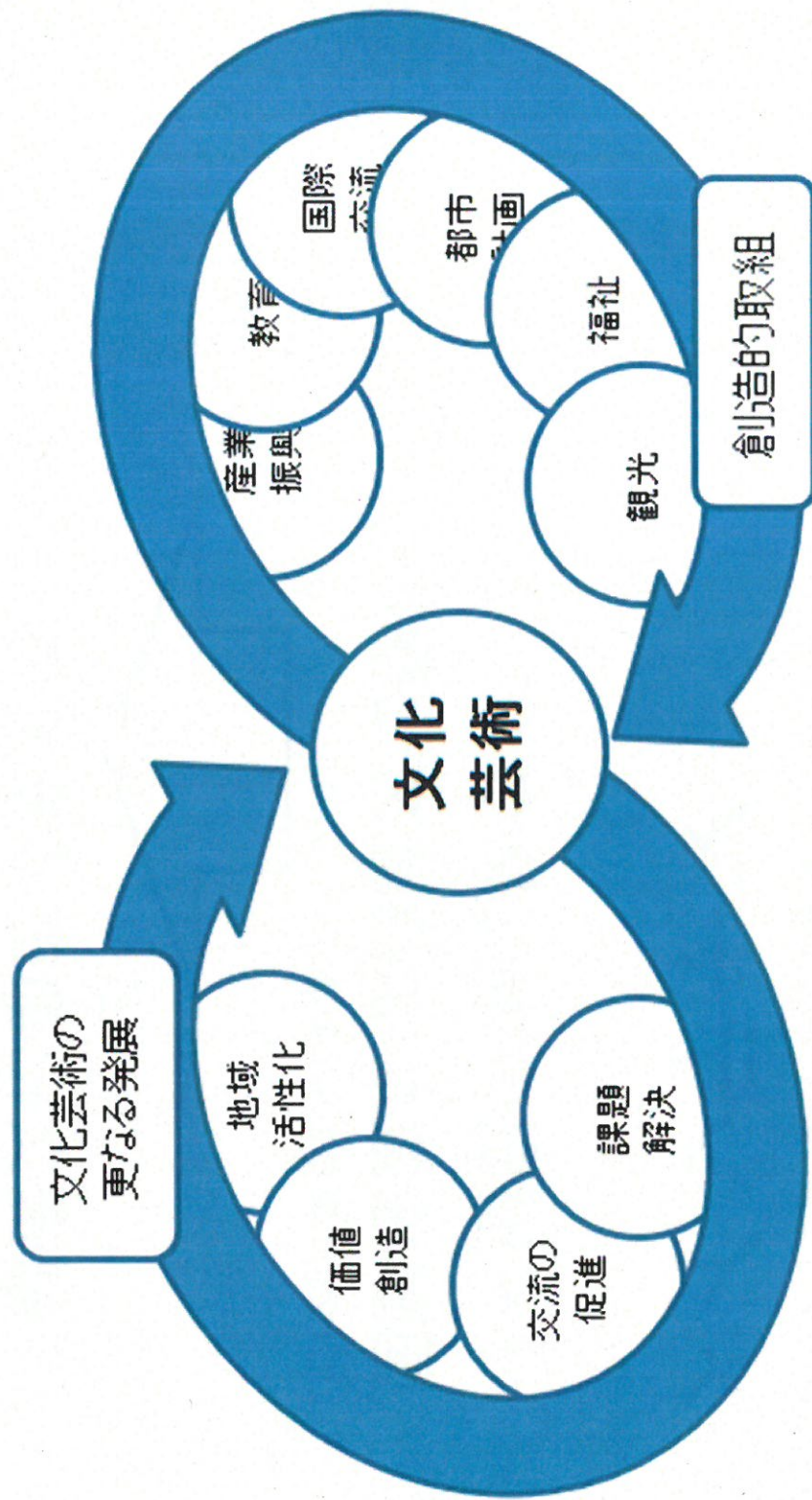
(「文化の薫るまち 創造ビジョン」)



「創造文化都市やまぐち」の更なる発展

(「(仮称) 第二次山口市文化振興ビジョン」)

交流の促進、豊かな暮らしの実現



7. 新たな「創造文化都市 やまぐち」実現のため の視点

新たな「創造文化都市やまぐち」 実現のための視点

（１）地域に根ざした文化芸術の振興

それぞれの地域やあらゆる世代に応じた、文化活動を奨励・支援し、文化芸術を通じて、暮らしの豊かさの実現や誇りの醸成を図ります。

また、文化芸術を通じた多様な主体のつながりの中で発生するコミュニティ（文化的コモンズ）の形成を見据え、市民や地域との関わりの一層の強化に努めます。

新たな「創造文化都市やまぐち」 実現のための視点

(2) 地域資源の活用

自然や歴史の豊かさ、地勢などの風土的な特性等を踏まえ、各地域の文化的多様性の認識・相互理解を深めるとともに、文化財や文化施設などの地域資源の活用を通じた地域活性化を図ります。

また、各地域の歴史や受け継がれた伝統文化、伝統芸能などの保存・継承を図るとともに、市民共有の財産としての認識、意識の向上を図ります。

新たな「創造文化都市やまぐち」 実現のための視点

(3) 人づくり・人材育成の取組

文化芸術を牽引していく担い手の育成や
アーティストに優しいまちづくりを推進す
るとともに、創造性を育み、豊かな人間性
をもった人材を育成するために、様々なワ
ークショップや児童・生徒等が多様な文化
芸術に触れる機会の創出等に努めます。

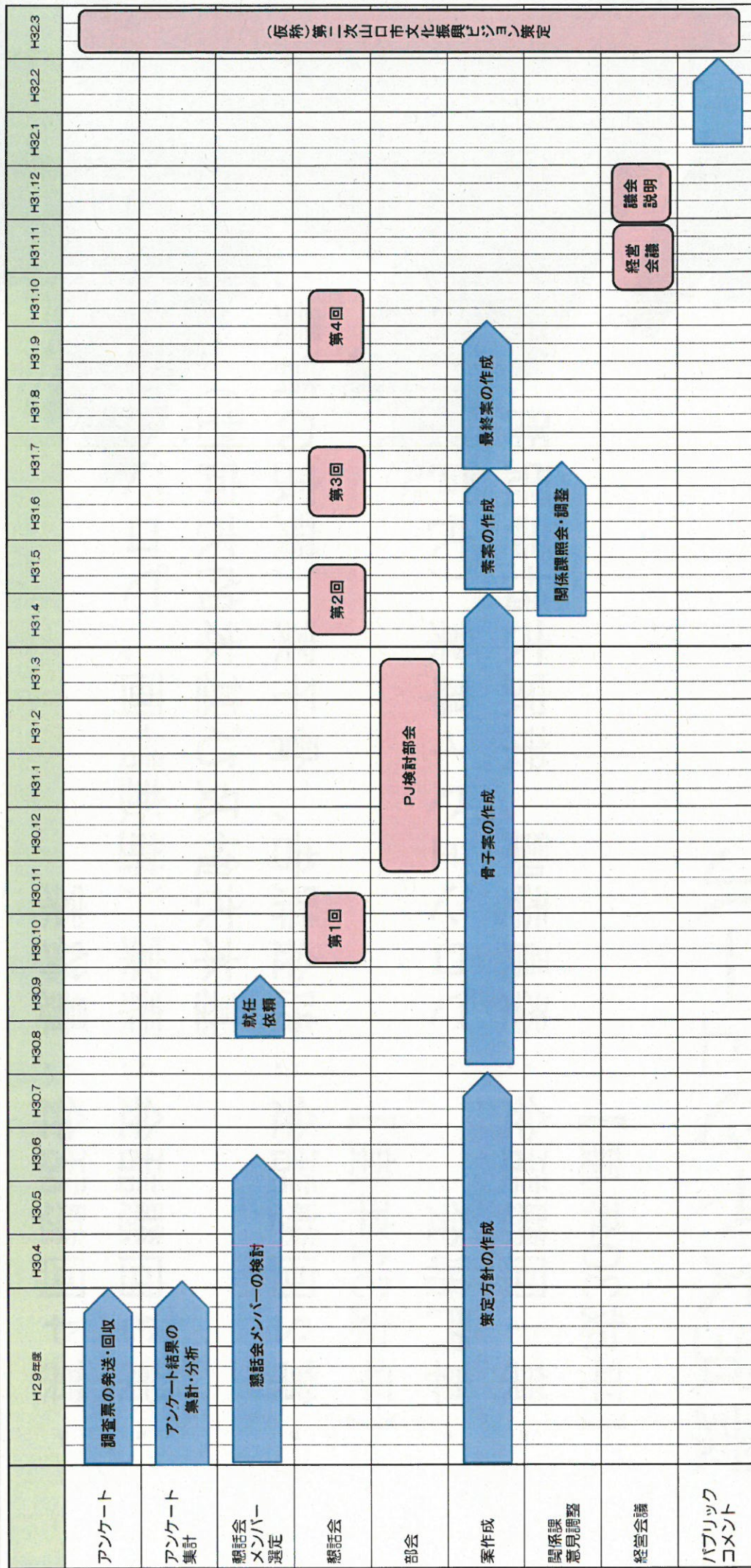
新たな「創造文化都市やまぐち」 実現のための視点

(4) 様々な分野や主体の連携の促進

地域資源の磨き上げや新たな価値の創出は、漸進的な進展だけではなく、新たな出会いや組み合わせによる偶発的なブレイクスルーによってもたらされます。新たな「創造文化都市やまぐち」の実現には、こうしたイノベーションが生まれる環境として、様々な分野や主体が連携し創造性を発揮できる仕組みづくりを促進します。

8. 策定スケジュール

策定スケジュール



策定スケジュール

【平成30年度】

- ・ 第1回懇話会：委員委嘱、策定方針等説明、部会設置
- ・ 専門部会：プロジェクト事業（方向性）の検討

【平成31年度】

- ・ 第2回懇話会：部会報告、骨子案（策定の背景、基本方針及び基本的方向性）
- ・ 第3回懇話会：素案（推進計画、プロジェクト事業）
- ・ 第4回懇話会：最終案